

7月のできごと

街のアルバム



七月二十一日
中島地蔵尊祭典
(中島)



いろいろなことを経験したよ 「夏休み親子市政教室」

7月29日 市の施設や仕事を知ってもらおうと、毎年行われている夏休み親子市政教室。ことしは、市庁舎や消防防災庁舎、市立看護専門学校を見学しました。市立看護専門学校では、包帯の巻き方や赤ちゃんのおむつかえなどを体験したり、白衣を着たりしました。白衣を着た子どもたちはとてもかわいらしく、日ごろできない経験を楽しみました。



笑顔あふれるまちづくり 「大淵地区ふれあいまつり」

7月5日 大淵地区ふれあいまつりが、大淵第一小学校運動場で行われました。この祭りは、七夕祭りとあわせて行われ、願いを込めた短冊をつるした笹が飾られました。会場には、浴衣を着た子どもやはっぴを着た人の姿がたくさん見受けられました。子どもからお年寄りまで多くの人に参加し、踊りや太鼓、フリーマーケットなど、地区の祭りを楽しみました。



犠牲者の霊を慰める33回忌法要 「^{しずくいし}雫石町慰霊の森慰霊祭」

7月30日 昭和46年のこの日、岩手県岩手郡雫石町上空で起きた飛行機事故犠牲者の33回忌法要が行われました。この事故で125人の富士市民が亡くなりました。小雨が降る中、事故現場につくられた「慰霊の森」に約600人が参列しました。参列者は犠牲者の慰霊を行うとともに、今後同じような事故が起こらないよう空の安全を祈願しました。



ホールいっぱい響く歌声 「小学校音楽発表会」

7月24日 市内の小学校25校が参加し、小学校音楽発表会がロゼシアターで行われました。この発表会はこととして37回目を迎え、子どもたちに心をつなげて美しい響きをつくることのすばらしさや楽しさを感じてもらうことを目的としています。子どもたちは、合唱や吹奏楽などを披露し、ホールいっぱいに自分たちの音楽を響かせました。